



奥入瀬川下流



太平洋

新幹線
2010年12月開通予定



奥入瀬川河口

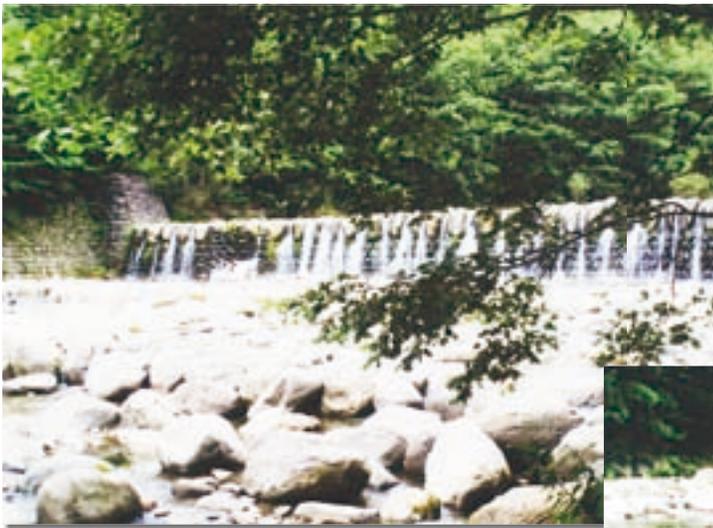
はん	れい	例
	流域界	流域界
	流路	流路
	かんがい用水路 (稲生川)	かんがい用水路 (稲生川)
	発電用導水路	発電用導水路

つた がわ
蔦川のようす



つた がわ ほん せん
蔦川本川

じょうりゅう ぶ かわ せ
上流部の川なので瀬がよく見える



とこがた こう
床固め工

か しょう てい か ふせ やま
河床の低下を防ぎ、山がくずれな
いようにするための河川構造物

じょうりゅう ぶ
床固め工の上流部
か しょう てい か しんしょく
河床の低下もなく、浸食を防
いでいるようすがよくわかる。





つたがわのしせん
鳶川の支川

さんらんしょう けいりゅう
産卵床をつくった溪流

かしょ じょうりゅうぶ
産卵床をつくった箇所の上流部



まえ
産卵床をつくる前のようす



奥入瀬川にはどんな魚がいるのかな

※大きさは、親のおおよそのサイズです。



メス 65cm前後



オス 65cm前後

サケ

奥入瀬川では3000万尾の稚魚を放流しており、4年後には、海で大きく成長した10万尾もの親サケが帰ってきます。



イワナ 20~30cm



アメマス 最大70cm

イワナの仲間

イワナには一生を川の上流部で生活するグループと、サケのように海において大きく成長して川に帰ってくるグループがあります。このうち海にのりるものをアメマスとよんでいます。

一生を川の上流部で生活するイワナは、白と黄色やだいたい色の小さな斑点があります。また、アメマスは体に大きな白い斑点だけがあります。海にのりたアメマスは7~8年で70cmにまで成長します。



サクラマス 約60cm

ヤマメとサクラマス

ヤマメ 20~30cm

ヤマメとサクラマスは同じ種類の魚です。一生を川の上流で生活するグループをヤマメと呼び、生まれてから1年半後の春に海に降り、翌年の春に大きく成長して川に帰ってくるグループをサクラマスと呼びます。ヤマメには小判型のもようがありますが、サクラマスは全体的に銀色で小判型のもようは見えません。メスは海におりるグループ(サクラマス)になりやすく、オスは河川に残るグループ(ヤマメ)になりやすいことがわかっています。



ウガイ 30cm前後



マルタウガイ 30~40cm

ウガイとマルタウガイ

ウガイは、川の上流から下流まで全域で生活し、海におりるグループもいます。ウガイとマルタウガイは、春の産卵期には上の写真のような婚姻色がつき、簡単に見分けられますが、それ以外の時は見分けるのが難しいかもしれません。



アユ 10~30cm



カジカ 15cm前後



コイ 約60cm



フナ 10~20cm

ゴイ、ドジョウ、シマ

川の上流・中流・下流のようす



● 上流

上流は、流れが速く、水がきれいで、川底は岩や大きな石、小石が多くなっています。岸には木が生い盛り、日かげになっているところが多く、夏でも水温が高くなりません。

● 中流

中流では、川幅は広くなり、流れもゆるやかになります。川底は、丸くなった石や砂などが多くなっています。岸には、木や草が生えていますが、川にはお日様があたり、夏の水温は上流から流れてくる間にあたためられて、少しずつ高くなります。

● 下流

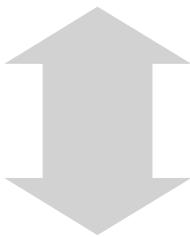
下流では、水がややにごり、川幅は中流よりも広くなり、流れもさらにゆるやかになります。川底は、砂やどろなどが多くなっています。岸には、木や草が生えていますが、夏の水温は、流れてくる間にあたためられて中流より高くなります。

上 流

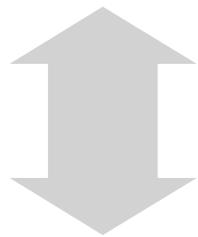
きれい

水温が低い

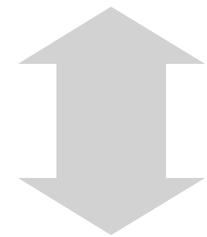
流れが速い



にごる



水温が高い

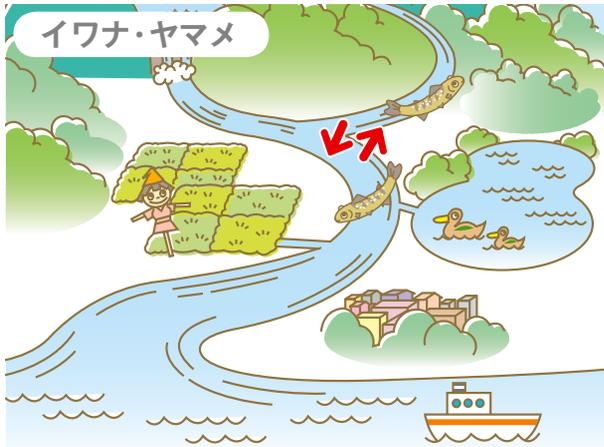


流れが遅い

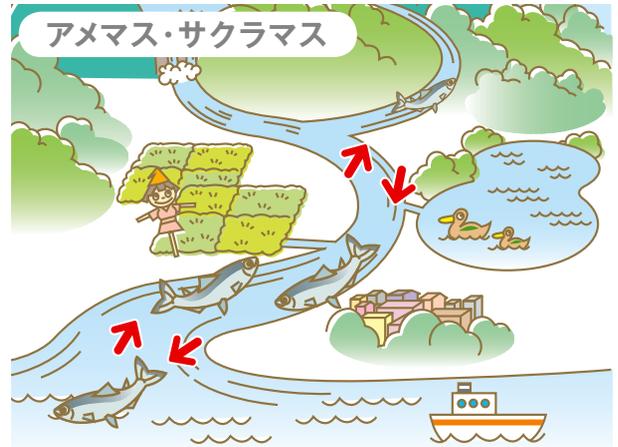
下 流

魚は川のどこにすんでいるのかな

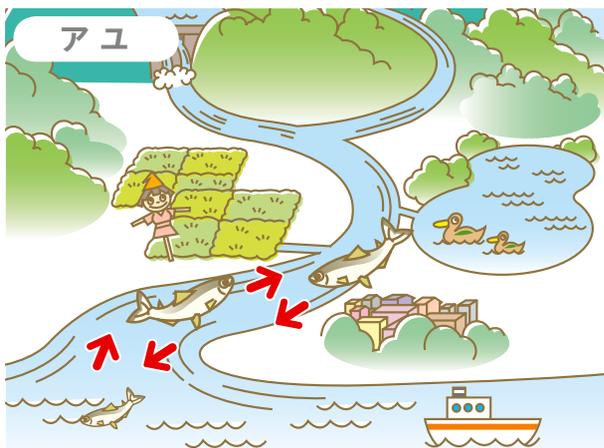
川の水温や流れの速さ、川底のようす、水のきれいさなどの環境は、上流から下流までの間に様々に変化しています。魚たちは川の中で自分たちの生活に合う場所を中心に生活していますが、いつも同じ場所にいるのではなく、良い産卵場所やエサが多い場所などを求めて、川の中を引っ越しながら生活しています。



イワナ、ヤマメは秋に上流で産卵し、上流～中流で成長します。親は産卵のために上流へ向かいます。

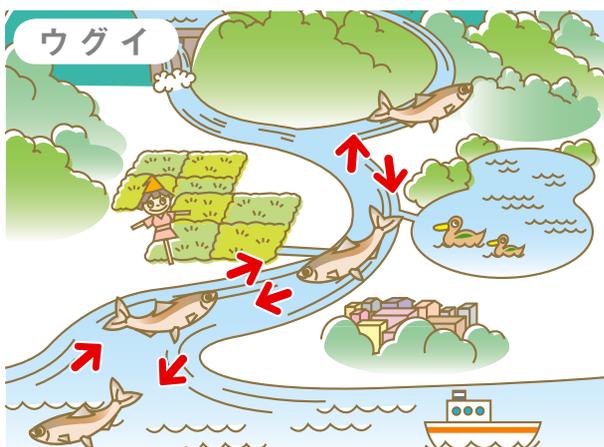
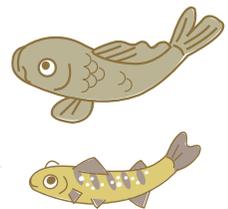


アメマス、サクラマスは上流で産卵、上流～中流で成長し、海にくだってさらに成長します。親は産卵のために上流へ向かいます。



アユは秋に中流～下流で産卵、稚魚は海にくだって成長します。春には川にのぼり、さらに成長します。

人たちが引っ越しするみたいに、ぼくらも引っ越しするよ！



ウグイは春に中流で産卵、上流～下流で成長、もしくは海で成長します。産卵のために親は中流へ向かいます。



コイ、フナ、ナマズは川の下流、田んぼ、池で産卵し、下流や田んぼ、池で成長します。